【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和4年12月5日(2022.12.5)

【公開番号】特開2022-107017(P2022-107017A)
【公開日】令和4年7月20日(2022.7.20)
【年通号数】公開公報(特許)2022-131
【出願番号】特願2022-80251(P2022-80251)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ 31/22(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/216(2006.01)
Ａ６１Ｋ 47/02(2006.01)
Ａ６１Ｋ 47/38(2006.01)
Ａ６１Ｋ 47/32(2006.01)
Ａ６１Ｋ 47/10(2006.01)
Ａ６１Ｋ 47/34(2017.01)
Ａ６１Ｋ 47/36(2006.01)
Ａ６１Ｋ 47/12(2006.01)
Ａ６１Ｋ 9/14(2006.01)
Ａ６１Ｐ 3/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ 3/10(2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ 31/22
Ａ６１Ｋ 31/216
Ａ６１Ｋ 47/02
Ａ６１Ｋ 47/38
Ａ６１Ｋ 47/32
Ａ６１Ｋ 47/10
Ａ６１Ｋ 47/34
Ａ６１Ｋ 47/36
Ａ６１Ｋ 47/12
Ａ６１Ｋ 9/14
Ａ６１Ｐ 3/00
Ａ６１Ｐ 3/10
Ａ６１Ｐ 43/00 １０５
Ａ６１Ｐ 25/00

【手続補正書】
【提出日】令和4年11月25日(2022.11.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
９８％ｗ／ｗより高い純度を有するトリヘプタノインオイルを活性成分として含有する、経口投与用に形成されたヒト患者用の医薬品組成物であって、

前記トリヘプタノインオイルが無臭であり、０．２％ｗ／ｗ以下の水分を含み、グリセロールが検出不可であり、１．５％ｗ／ｗ以下のジヘプタノエート、１．０％ｗ／ｗ以下のヘキサノ－ジヘプタノエートを含有し、
前記ジヘプタノエートとヘキサノ－ジヘプタノエートとの含有量の合計がトリヘプタノインオイルの２％ｗ／ｗ未満であり、
モノヘプタノエートが検出不可であり、かつ
前記医薬品組成物が液体である、
医薬品組成物。
【請求項２】
トリヘプタノインオイルが、０．０４％ｗ／ｗ未満の水分を含有する、請求項１に記載の医薬品組成物。
【請求項３】
トリヘプタノインオイルが、０．０１％ｗ／ｗ未満の灰分を更に含有する、請求項１又は２に記載の医薬品組成物。
【請求項４】
医薬品組成物が、密封容器に梱包された場合に、相対湿度約６０％で約２５℃に約４週間おかれた後に９８％より高い純度を有するトリヘプタノインオイルを含有する、請求項１～３のいずれか１項に記載の医薬品組成物。
【請求項５】
ヒ素、カドミウム、鉛及び水銀が検出不可である、請求項１～４のいずれか１項に記載の医薬品組成物。
【請求項６】
トリヘプタノインオイルが、０．７％ｗ／ｗ以下のジヘプタノエート及び０．４％ｗ／ｗ以下のヘキサノ－ジヘプタノエートを含有し、かつ
トリヘプタノインオイルが１．３％ｗ／ｗ以下の量の全不純物を含有する、
請求項１～５のいずれか１項に記載の医薬品組成物。
【請求項７】
９８％ｗ／ｗより高い純度を有するトリヘプタノインオイルを活性成分として含有する、経口投与用に形成された医薬品組成物であって、
前記トリヘプタノインオイルが、０．２％ｗ／ｗ以下の水分を含み、グリセロールが検出不可であり、
前記トリヘプタノインオイルが、約１．５％ｗ／ｗ以下のジヘプタノエート、１．０％ｗ／ｗ以下のヘキサノ－ジヘプタノエートを含有し、
前記ジヘプタノエートとヘキサノ－ジヘプタノエートとの含有量の合計がトリヘプタノインオイルの２％ｗ／ｗ未満であり、かつ
モノヘプタノエートが検出不可である、
医薬品組成物。
【請求項８】
対象の脂肪酸酸化異常または不全の治療に用いるための請求項１～７のいずれか１項に記載の医薬品組成物であって、
前記医薬品組成物が、治療に有効な量で前記対象に経口投与ためのものである、
医薬品組成物。
【請求項９】
請求項８で用いるための医薬品組成物であって、
脂肪酸酸化異常または不全が、カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼＩ、カルニチンアシルカルニチントランスロカーゼ、カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼII、極長鎖アシルＣｏＡ脱水素酵素、三頭酵素、又は長鎖ヒドロキシアシルＣｏＡ脱水素酵素の欠損である、
医薬品組成物。